

第一回 新潟大学佐渡三施設による森里海公開シンポジウム

「佐渡から世界へ発信する最新の研究－自然探求から、自然共生、自然再生へ」

日時：平成27年 2月26日（木曜日）15:00～17:50

場所：理学部附属臨海実験所（佐渡市達者87） 2F 講義室

プログラム

開会挨拶 15:00～15:05

安東宏徳 臨海実験所 所長・教授

講演（森） 15:05～15:30

崎尾均 農学部附属フィールド科学教育センター 教授

「水辺林の更新における大規模攪乱の役割－ハリケーン・台風・土石流・洪水など－」

講演（森） 15:30～15:55

本間航介 農学部附属フィールド科学教育センター 准教授

「佐渡島のナラ枯れ後の森はどうなるか」

講演（里） 15:55～16:20

永田尚志 研究推進機構 朱鷺・自然再生学研究センター 教授

「トキの再導入の最前線：自立個体群の確立への問題点」

講演（里） 16:20～16:45

大脇淳 研究推進機構 朱鷺・自然再生学研究センター 特任准教授

「ハンミョウ類から佐渡の生物相の成り立ちを考える ～生息環境の安定性と遺伝的構造の関係～」

休憩 16:45～16:55

講演（海） 16:55～17:20

安東宏徳 臨海実験所 所長・教授

「産卵回遊行動を調節する脳のしくみ－月周産卵回遊魚クサフグをモデルとした研究」

講演（海） 17:20～17:45

安房田智司 臨海実験所 助教

「カジカ科魚類の多様な繁殖戦略とその進化を探る」

閉会挨拶 17:45～17:50

* 閉会後はバスの迎いの時間まで所内の案内など

懇親会

時間：18時30分～20時30分（予定）（臨海実験所バス迎え 18時15分）

場所：新龍館（新潟県佐渡市姫津 150-4 電話 0259-75-2830）

会費：5,000円

臨海実験所での宿泊も可能です。

場所：臨海実験所宿泊室

宿泊費：650円（素泊まり）

申し込み締め切り

一般の方の参加も歓迎します。2月18日（水）までに下記の連絡先にお申し込み下さい。
申込者が多い場合は先着順となります。ご了承下さい。

安房田智司（Satoshi AWATA）

Tel: 0259-75-2012

E-mail: sa-awata@cc.niigata-u.ac.jp